

# 公立大学法人県立広島大学中期目標素案と主な方策（案）

## 中期目標素案

※「中期目標」と「主な方策」は、現時点の案であり、今後の予算措置の状況等を踏まえて精度を高めていく。

## 主な方策

**基本理念**  
「地域に根ざした県民から信頼される大学」

**第1期中期目標**  
「確かな教育と研究に支えられた実践力ある人材の養成」

中期目標の期間 平成19年4月1日～平成25年3月31日（6年間）

### 重点項目

### ねらい

#### (1) 実践力のある人材の育成

主体的に考え、行動し、地域社会で活躍できる実践力のある人材を育成するため、アドミッションポリシーに応じた入学者を確保するとともに、教育内容の充実強化を図る。また、きめ細かな就職支援を行い、地域社会で活躍する人材を輩出していく。

### (前文) 大学の基本的な目標

県が設置した大学として、「地域に根ざした、県民から信頼される大学」を基本理念とし、地域に貢献する知の創造、応用及び蓄積を図る知的活動の拠点として、主体的に考え、行動し、地域社会で活躍できる実践力ある人材を育成するとともに、地域に根ざした高度な研究を行い、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。  
第1期中期目標期間においては、公立大学法人化の利点を活かしつつ、学生等の満足度を向上させるため、次に掲げる目標※を推進するものとし、特に、「確かな教育と研究に支えられた実践力ある人材の養成」の観点から教育・研究・地域貢献活動等を積極的に推進する。

### 1 教育に関する目標

- (1) 教育の成果に関する目標  
公立大学法人県立広島大学の基本理念である「主体的に考え、行動し、地域社会で活躍できる、実践力ある人材」を育成するために、各学科の専門分野の枠を超えて共通に求められる知識や思考法などの知的な技法を十分に修得できる能力及び人間としての在り方や生き方に関する深い洞察力、現実を正しく理解する能力を涵養する。  
大学院においては、「地域に根ざした」大学院として、幅広い視野と応用実践能力を兼ね備えた「地域で活躍できる人材」の養成を目指し、学術研究の高度化と優れた研究者養成の機能強化を進めるとともに、高度専門職業人の養成機能を強化し、併せて社会人に対するより高度な教育機会の確保を図る。  
なお、広島県立大学、県立広島女子大学及び広島県立保健福祉大学は、在学生がいなくなった段階で廃止することとし、その間、在学生に対して教育責任を果たすため、適切な対応を行う。
- (2) 教育内容等に関する目標
  - (7) 入学選抜の改善  
公立大学法人県立広島大学のアドミッションポリシーにふさわしい資質を持った学生を受け入れるため、各学科及び研究科の各専攻において、それぞれの教育研究上の理念等を踏まえたアドミッションポリシーを明確にし、それらを踏まえた入学選抜を実施する。
  - (4) 教育内容の改善・充実  
大学の理念、学生のニーズ、社会経済情勢や地域のニーズに合った教育を提供するため、全学をあげて教育の質の改善に不断に取り組む。
  - (9) 多様な教育・履修システムの構築  
学生が自らの進路希望等を踏まえて多様な履修内容を選択できるよう、教育・履修システムを充実させる。また、高度専門職業人の養成や生涯教育など社会人の教育ニーズに応えるため、社会人が学びやすい環境をつくる。
  - (1) 適切な成績評価等の実施  
学生の卒業・修了時の質を確保するため、厳正な成績評価の仕組みを構築する。
- (3) 教育の実施体制等に関する目標
  - (7) 教育体制の整備、充実  
実効性のある教育体制の確立を目指して、適宜見直しを行う。
  - (4) 社会ニーズの変化への的確な対応  
社会の多様なニーズに敏感に対応できる学習プログラムを構築する。
  - (9) 教育研究内容に応じた施設・設備や図書等の資料の整備  
教育に必要な図書館、情報ネットワーク等の設備の充実を行う。
- (4) 学生への支援に関する目標  
学生の満足度を高めるため、学生の立場にたつて、入口から出口まできめ細かな支援を行う。

※

- (1) 実践力のある人材の育成…主体的に考え、行動し、地域社会で活躍できる実践力のある人材を育成するため、アドミッションポリシーに応じた入学者を確保するとともに、教育内容の充実強化を図る。また、きめ細かな就職支援を行い、地域社会で活躍する人材を輩出していく。
- (2) 地域に根ざした高度な研究…社会や時代の要請にこたえる最先端の研究を行い、その成果を地域に還元していく。このため、積極的に地域との連携を図り、地域の課題に対する研究を進めるとともに、企業等が求める研究を行う。
- (3) 大学資源の地域への提供…地域のシンクタンクとしての役割を果たすと同時に、生涯学習意欲の高まり等も視野に入れながら、大学が持つ知的・物的資源を地域に積極的に提供し、地域産業、地域社会の活性化に貢献する。
- (4) 大学運営の効率化…公立大学法人化の利点を活かしながら、社会経済情勢の変化に迅速に対応し、効率的で透明性の高い大学運営を行う。

- ・ アドミッションポリシーの明確化
- ・ 社会的要請、教育効果、費用対効果を考慮した学生定員の検討
- ・ 入学選抜方法の検証・改善
- ・ オープンキャンパス、ホームページ、高校訪問等による知名度向上と入試関連情報の周知
- ・ 導入教育の充実
- ・ 学生による授業評価と授業改善への反映
- ・ FD活動の推進
- ・ 現代GPの着実な実行
- ・ 卒業生等に対するアンケート調査による教育成果評価制度の検討
- ・ コースカタログ、シラバスの公開
- ・ インターンシップ制度の充実
- ・ オフィスアワー制度の充実
- ・ 修士課程1年生コース等による社会人の受入れ
- ・ GPA制度導入の検討
- ・ 成績上位者に対してインセンティブを高める制度の検討
- ・ 多様な経験を有する者を招聘した授業
- ・ 他大学、県教育委員会、県の関係機関との連携
- ・ 修士課程1年生コース等による社会人の受入れ（再掲）
- ・ 新たな教育領域への対応
- ・ 利用しやすい図書館の検討
- ・ 外国語教育用CALLシステムの活用
- ・ 遠隔講義システム、サテライト教室の充実
- ・ IT教材の開発とeラーニングの導入
- ・ 学生生活に関わるアンケート調査による学生ニーズの把握
- ・ 学生生活や心身の健康に関する相談体制の充実
- ・ チューター制度の活用
- ・ 自主的課外活動に対する支援
- ・ 奨学金、授業料減免、アルバイト等の情報提供
- ・ 就職支援の専管組織の設置によるきめ細かな就職支援
- ・ 既卒者とのネットワークの構築
- ・ 同窓会や保護者会等との連携

## (2) 地域に根ざした高度な研究

社会や時代の要請にこたえる最先端の研究を行い、その成果を地域に還元していく。このため、積極的に地域との連携を図り、地域の課題に対する研究を進めるとともに、企業等が求める研究を行う。

## 2 研究に関する目標

学術文化の探求を通じて、教育内容の質的向上と地域の発展に寄与するため、社会や時代の要請に応えた最先端の研究を行い、その内容を教育に反映させるとともに、研究成果を積極的にPRし、新たな外部研究費の獲得や研究水準の向上に結びつける。また、研究の推進に当たっては、人権の尊重、生命の尊厳等に配慮するとともに、研究活動の公正性を確保する。

- ・地域課題解決型研究への積極的な取り組み
- ・科学研究費補助金の採択件数の増加
- ・部局横断的な研究領域の開拓
- ・共同研究・受託研究等による企業等との連携の推進
- ・知的財産の創出・保護・活用の推進
- ・研究情報（研究人材・研究成果）の公開・PR
- ・研究倫理の徹底

## (3) 大学資源の地域への提供

地域のシンクタンクとしての役割を果たすとともに、生涯学習意欲の高まり等も視野に入れながら、大学が持つ知的・物的資源を地域に積極的に提供し、地域産業、地域社会の活性化に貢献する。

## 3 地域貢献に関する目標

- (1) 地域社会との連携に関する目標  
地域に開かれた大学として、地域の持続的発展に貢献するため、地域連携センターの機能を強化し、大学が持つ知的・物的資源を地域に積極的に提供する。
- (2) 国際交流等に関する目標  
国際的な視野を持って活躍できる人材を育成するため、海外の大学との研究者の受入れや派遣、共同研究の推進、学生の相互交流等の推進を図る。

- ・自治体、金融機関、経済団体等との包括協定の締結
- ・公開講座の充実
- ・高大連携による公開授業等の充実
- ・企業ニーズと大学シーズのマッチングを支援する交流会等への積極的な参加
- ・知的財産の技術移転の推進
- ・図書館等施設、設備、機器等の開放
- ・企画展等による魅力ある図書館づくり
- ・海外の大学との学術交流協定締結の拡大
- ・留学生の受入れ体制の充実

## (4) 大学運営の効率化

公立大学法人化の利点を活かしながら、社会経済情勢の変化に迅速に対応し、効率的で透明性の高い大学運営を行う。

## 4 運営体制の改善に関する目標

- (1) 戦略的・機動的な運営組織の構築に関する目標  
理事長がリーダーシップを発揮して、責任ある意思決定を迅速に行える運営組織を構築し、全学的・中期的視点に立った戦略的・機動的な大学運営を図る。また、各部局においても、全学的な方針のもとで、戦略的・機動的な運営が行われる体制を確立する。
- (2) 地域に開かれた大学づくりに関する目標  
社会ニーズを適切に反映させるため、運営に学外の有識者・専門家の参画を図り、地域に開かれた大学づくりを推進する。
- (3) 監査制度による業務運営の改善に関する目標  
監査制度を整備し、法人業務の適正処理を確保するとともに、業務運営の改善を図る。

- ・法の趣旨に沿った理事長選考の仕組みの構築
- ・全学委員会の見直し
- ・全学的な経営戦略の確立、経営企画室（仮称）の設置
- ・学内資源を戦略的・重点的配分するシステムの構築
- ・理事長権限でより実質的に学部長等が選考できる制度の構築
- ・教授会の審議事項の明確化
- ・役員執行体制の確立とその執行を支援する事務組織の配置
- ・学外有識者・専門家の登用
- ・監事を中心とした監査による業務運営の改善
- ・会計監査人設置による適正な財務処理の確保

### 法人化のメリット

- ・機動的・弾力的な組織運営
- ・弾力的な人事・給与システム
- ・目標評価システム
- ・自主的な財務運営によるコスト管理
- ・企業会計原則

- ・迅速な意思決定
- ・スリムで効率的な組織体制
- ・戦略的な資源配分
- ・法人経営の適正性、透明性の確保
- ・学生等の満足度の向上

## 5 教育研究組織の見直しに関する目標

公立大学の存在意義を踏まえた上で、教育研究へのニーズや社会経済情勢など大学を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、教育研究組織の見直しに取り組む。

- ・学部、学科、研究科、センターの継続的見直し

## 6 人事の適正化に関する目標

### (1) 法人化のメリットを生かした柔軟で弾力的な人事制度の構築に関する目標

教育研究活動の活性化を図るため、法人化のメリットを最大限に生かした柔軟で弾力的な人事制度を構築する。また、全学的視点に立った公平性、客観性、透明性を確保した教員人事を行うことができる制度を確立し、人事の活性化、適正化を図る。

- ・人事委員会（仮称）の設置
- ・特任教授（仮称）、助手等への任期制の導入
- ・裁量労働制の導入の検討
- ・兼職・兼業に係る手続きの簡素化
- ・法人固有の事務職員の採用の検討

### (2) 教職員業績評価に関する目標

教職員組織の活性化を図るため、教職員の業績を適正に評価し、その評価結果を人事、給与、研究費等に反映させる。

- ・教員の業績評価制度の導入

## 〈用語の説明〉

「**アドミッションポリシー**」…入学者受入方針。受験生に求める能力、意欲、適性、経験などについて、大学の考えをまとめた基本的な方針。

「**オープンキャンパス**」…高校生にキャンパスを開放し、模擬授業等、高校生を対象とした様々なイベントを行い、キャンパスの雰囲気を知ってもらう。

「**FD**」…Faculty Development 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。（授業方法についての研究会の開催、教員相互の授業参観の実施、新任教員のための研修会等）

「**現代GP**」…Good Practice 文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラム。各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学等から応募された取組の中から特に優れた教育プロジェクト（取組）を選定し、財政支援を行うことで高等教育の活性化が促進されることを目的とするもの。

「**コースカタログ**」…授業案内

「**シラバス**」…教師がコースの初めに学生に配布する授業計画。内容として、各回の授業のテーマや、そのために予習しておくことがら、課題、評価の方法と基準などを盛り込む。

「**インターンシップ**」…学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来希望する職業に関連した就業体験を行うこと。

「**オフィスアワー**」…学生が気軽に講義や学習についての質問や自らの進路などに関する相談のため、予約なしに研究室に教員を訪問することができるように研究室等を開放する一定の時間帯。

「**GPA制度**」…Grade Point Average 授業ごとの成績の評価それぞれに対して4・3・2・1・0のグレードポイントを付けて、全履修科目の平均を算出したもの。アメリカの大学で広く採用されている世界に通用する成績評価システム。

「**CALLシステム**」…Computer Assisted Language Learning コンピュータ支援外国語学習システム。これまでの画像・音声・文字データそれぞれを個別に利用する学習ではなく、これら3つを組み合わせたマルチメディア語学教材での学習環境を提供する。

「**サテライト教室**」…社会人など時間的・地理的制約等により大学の本校に継続的に通うことが困難な者に対して、授業の一部を行う大学の本校以外の場所。

「**eラーニング**」…e-Learning インターネットやイントラネットなどを利用した教育システム。

「**チューター制度**」…教員と学生の親密な個人的接触を通じてよりよい学生生活を実現させるための制度。

## 7 事務等の効率化・合理化に関する目標

効果的・効率的な事務処理を行うため、外部委託の活用など業務改善を進めるとともに、事務組織の見直しを行う。

- ・事務処理の簡素化・平準化・迅速化
- ・業務委託等の積極的な活用
- ・事務組織の継続的な見直し

## 8 財務内容の改善に関する目標

### (1) 自己収入の増加に関する目標

外部研究資金の獲得や多様な大学事業に展開による自主財源の確保・拡充に取り組み、安定的な経営基盤を確立する。授業料等学生納付金については、公立大学の役割、適正な受益者負担等の観点から、適宜見直しを行う。

- ・外部研究資金の獲得
- ・有料公開講座、大学施設の貸出し等による収入の確保
- ・授業料等学生納付金の適切な料金設定

### (2) 経費の抑制に関する目標

予算の弾力的・効率的な執行や管理的業務の合理化等により、経常的経費を抑制するとともに、教育研究水準の維持向上に配慮しながら、適正な人員配置を行い、人件費の抑制を図る。

- ・予算執行管理の徹底や契約方法の見直し等による管理経費の見直し
- ・人員配置の見直し等による人件費の抑制

### (3) 資産の運用管理の改善に関する目標

資産の実態を常に把握・分析し、全学的かつ経営的視点に立った資産の効果的・効率的な運用管理を図る。

- ・資産の有効活用のための長期的運用計画の策定
- ・設備機器等の共同利用

## 9 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

教育研究活動及び業務運営について、大学の自己点検・評価体制を整備し、定期的に自己点検・評価を実施する。また、外部の検証を受けながら、その結果を教育研究活動及び業務運営の改善に活用する。これら自己点検・評価及び外部評価の結果は、速やかに公表する。

- ・自己点検・評価の実施体制の整備
- ・教育研究活動等大学情報システムの構築
- ・自己点検・評価結果の公表
- ・大学運営改善への反映の仕組みづくり

## 10 その他業務運営に関する重要目標

### (1) 施設設備の整備・活用等に関する目標

既存施設の効率的な維持・管理を行うとともに、長期的な展望に立ち、計画的な施設設備の整備・改修を行う。

- ・施設・設備等の長期的整備計画の策定
- ・コスト削減と資金需要の平準化が図られる効率的整備

### (2) 情報公開等の推進に関する目標

教育研究活動や経営管理の透明性を確保するとともに、社会への説明責任を果たすため、積極的な情報公開を推進する。また、戦略的な広報活動を展開し、大学への支持を拡大するとともに、大学に対する意見は、大学運営の改善に反映させる。

- ・教育研究活動の積極的な情報提供
- ・戦略的な広報の実施

### (3) 安全管理に関する目標

学生・教職員の安全管理体制を整備するとともに、安全管理に関する意識向上を図る。

- ・安全衛生管理体制の整備
- ・災害等危機管理体制の整備
- ・情報セキュリティポリシーの策定

### (4) 社会的責任に関する目標

人権の尊重や法令の遵守など、法人としての社会的責任を果たす体制を確立する。

- ・各種ハラスメント等の防止体制の整備
- ・法令遵守の徹底、研究倫理の基準、利益相反ポリシーの策定